

5. 創意工夫 I. 創意工夫

●下記の該当項目をチェック

【施工】

- 施工に伴う器具、工具、装置等に関する工夫又は設備据付後の試運転調整に関する工夫を行って、工事的物の品質の向上に効果があった。
- 設計図書で指示されていないコンクリート二次製品等を利用して、工事的物の品質の向上に効果があった。
- 土工、地盤改良、橋梁架設、舗装、コンクリート打設等に関する工夫を行って、工事的物の品質の向上に効果があった。
- 部材並びに機材等の運搬及び吊り方式などの施工方法に関する工夫を行って、工事的物の品質の向上に効果があった。
- 設備工事における加工や組立等又は電気工事における配線や配管等に関する工夫を行って、工事的物の品質の向上に効果があった。
- 給排水工事や衛生設備工事等における配管又はポンプ類の凍結防止、配管のつなぎ等に関する工夫を行って、工事的物の品質の向上に効果があった。
- 照明などの視界の確保に関する工夫を行って、工事的物の品質の向上に効果があった。
- 仮排水、仮道路、迂回路等の計画的な施工に関する工夫を行って、工事的物の品質の向上に効果があった。
- 運搬車両、施工機械等に関する工夫を行って、工事的物の品質の向上に効果があった。
- 支保工、型枠工、足場工、仮橋、覆工版、山留め等の仮設工に関する工夫を行って、工事的物の品質の向上に効果があった。
- 盛土の締固度、杭の施工高さ等の管理に関する工夫を行って、工事的物の品質の向上に効果があった。
- 施工計画書の作成、写真の管理等に関する工夫を行って、工事的物の品質の向上に効果があった。
- 出来形又は品質の計測、集計、管理図等に関する工夫を行って、工事的物の品質の向上に効果があった。
- 施工管理ソフト、土量管理システム等の活用に関する工夫を行って、工事的物の品質の向上に効果があった。
- ICT（情報通信技術）を活用した情報化施工を取り入れたことにより、工事的物の品質の向上に効果があった。
- 自主的に、特殊な工法や材料を用いて、工事的物の品質の向上に効果があった。
- 自主的に、優れた技術力又は能力として評価する技術を用いて、工事的物の品質の向上に効果があった。

【新技術活用】

- NETISの「有用な新技術」に登録された技術を活用したことにより、工事的物の品質の向上に効果があった。

【品質】

- 土工、設備、電気の品質向上に関する工夫を行って、工事的物の品質の向上に効果があった。
- コンクリートの材料、打設、養生に関する工夫を行って、工事的物の品質の向上に効果があった。
- 鉄筋、PCケーブル、コンクリート二次製品等の使用材料に関する工夫を行って、工事的物の品質の向上に効果があった。
- 配筋、溶接作業等に関する工夫を行って、工事的物の品質の向上に効果があった。

【安全衛生】

- 安全衛生教育に関する工夫を行った。
- 安全を確保するための仮設備等に関する工夫。（落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等）
- 現在の法令の基準を上回る安全対策を実施した。（法律で義務化される前に取り入れた安全対策や任意の安全対策ほか）
- 現場事務所の働く環境を快適にする工夫を行った。
- 熱中症防止のために、こまめに休憩時間を設定し、高温時には作業を中断した。
- 一般通行車両や歩行者等との交通事故の防止に関する工夫を行った。
- 熱中症防止のために効果のある装置を設置し、又は機材を作業員に支給した。
- 環境汚染の防止に関する工夫を行った。
- 海上事故の防止に関する工夫を行った。

【その他】

- 現場閉所による週休2日（4週8休以上）を達成した。
- ICT（情報通信技術）を活用した情報化施工、遠隔臨場、情報共有システムに取り組んだ。
- 建設キャリアアップシステムを活用した。

評価： 0点